

## 放課後等デイサービスガイドラインに基づく自己評価（2022年度）

放課後等デイサービスの支援の質の向上を図るため、「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき2022年12～2023年1月に実施した自己評価の結果を下記の通り公表します。（アンケート回収率：保護者 68.6%、スタッフ 100%）

## 1-1. 保護者アンケートの結果

	保護者アンケートからの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	概ね高い評価をいただいています。『職員の配置数や専門性は適切ですか』については「どちらともいえない」「よくわからない」が全体の16%程度ありました。年度によっては職員の異動等があり、ご不安を感じられる保護者もいらっしゃいました。	発達支援センター全体のスタッフ間で連携しながら、より丁寧な支援ができるようにしています。保護者とは、送迎時のやりとりや、電話やメールでの連絡など、必要に応じて密に連携できるよう、また日常的なつながりが作れるよう努めます。
適切な支援の提供	活動プログラムをできるだけ前もってお知らせすることで、活動に参加しやすくなった、という評価をいただきました。『地域やボランティア、他団体との交流』については、学生ボランティアの活動への参加や、12月から始めた地域交流のプログラムの実施について、保護者にも活動報告を行うことで、認識していただくことができました。	子どもたちが見通しや期待感を持って活動に参加できるように、活動プログラムをできるだけ前もってお知らせできるようにしました。必要に応じて、医療連携、学校連携をしながら、より包括的な支援ができる様、取り組んでいます。地域交流については、今後も子どもたち同士の関係を深めながら、より日常的なつながりが生まれる活動に発展させていきます。
保護者への説明責任等	高い評価をいただいています。ただ、『苦情に対する対応について』は「よくわからない」との回答が8%程ありました。『親の会の活動の支援や保護者会、交流会、勉強会等の開催の機会があるか』については「どちらともいえない」というご意見や、もっと交流会を増やしてほしいというご意見をいただきました。	苦情その他への対応体制については、契約時により丁寧に説明をし、万一苦情をいただいた際にはスタッフ間で共有すること、迅速に対応する様努めます。今年度はできるだけ定期的に(月一回程度)保護者交流会を開催できるようにしました。しかしコロナの影響で、オンラインでの開催になった回もあり、「しっかり交流できた」という実感が持ちにくい面もあったかもしれません。引き続き積極的に機会を設けるとともに、保護者同士の交流が充実する様、内容を工夫していきます。
非常時等の対応	高い評価をいただきました。	様々な災害に対応できる様、避難訓練を行いました。また実施後保護者にも報告を行いました。
満足度	概ね高い評価をいただきました。『お子さんは通所を楽しみにしていますか』については、「どちらともいえない」が2件、「よくわからない」が1件ありました。学年が上がるにつれて部活動への参加やその他の興味関心の広がりによって、通所への気持ちが向きにくくなっているケースがあります。また通所に対して不安や葛藤のあるケースもありました。成長過程においては、楽しい活動ばかりではなく、未体験のことにチャレンジする不安や、葛藤場面もあるかもしれません。	放課後等の発達支援の場として、安心して楽しく通所できるよう、子どもたちの主体性を大切に活動の充実に努めます。また、より丁寧に保護者とのコミュニケーションを図り、日常的に不安や悩みなどを共有できるようにしたいと思います。保護者や関係者とともに子どもたちを見つめ、より良い育ちを一緒に考えていきたいと思っています。